

旭市は「今までどおり」じゃダメなの？ 持続可能なまちに必要な選択を！

ある時、あさピーは思った。

「大好きな旭市は、これからも暮らしやすいまちであり続けられるのかな……。そうだ、**市長に聞いてみよう！**」
このコーナーでは、市民の皆さんが気になっていることを、あさピーが代わって市長に聞いていきます。

ねえねえ、市長。旭市ってたくさん貯金があるって聞いたよ。将来も安心して暮らせるね！



米本市長

あさピー、実はそうとも言えないんだ。
確かに今は貯金(財政調整基金)が約80億円あるけど、知恵を振り絞ってやりくりしていても**この5年間で約16億5千万円減っている**んだ。



旭市イメージアップ
キャラクター
あさピー

えっ！なんでそんなに減っちゃったの？



最近、いろいろなものが値上がりしているよね。市役所でも、建物を直したり、市民サービスを維持したりするのに、前よりもずっとお金がかかるようになってるんだ。
その一方で、人口は減っているから、市に入ってくるお金は減っていく。
つまり、**これからはもっと早いペースで貯金が減っていく可能性が高い**んだ。



えー！将来使えるお金がなくなっちゃうと困るよ！どうにかできないの？



入ってくるお金を急に増やすことは難しいから、まずは**「使うお金を減らす」ことが大切**なんだ。
その一つが**公共施設の見直し**だよ。旭市は4つの市町が合併してできたから、**似たような施設がいくつも**あるんだ。施設の維持にはたくさんのお金がかかるから、本当に必要な施設かどうかを見直さないといけないんだ。



あれば便利だけど、本当に必要かどうかを考えなきゃいけないんだね。
ほかにはどんな方法があるの？



市がやっている**事業(取り組み)の見直し**も大切だね。
始めたときは効果があった事業も、時代が変わって効果が落ちているものもあると思う。これからは**「あった方がいい事業」ではなくて「絶対に必要なこと」に優先して**お金を使わないといけないんだ。



未来の旭市を守るためには、限られたお金を賢く使わないといけないってことだね！



そのとおり！例えば少人数の旅行で大型バスを出すのは、効率が悪いしもったいないよね？市のサービスもそれと同じで、今の人口に合わせて**「身の丈に合った規模」へ見直していくことが**、未来のために大切なんだ。



問い合わせ先 行政改革推進課行政改革班(☎62-5345)

※くわしい内容は、市ホームページで解説しています。



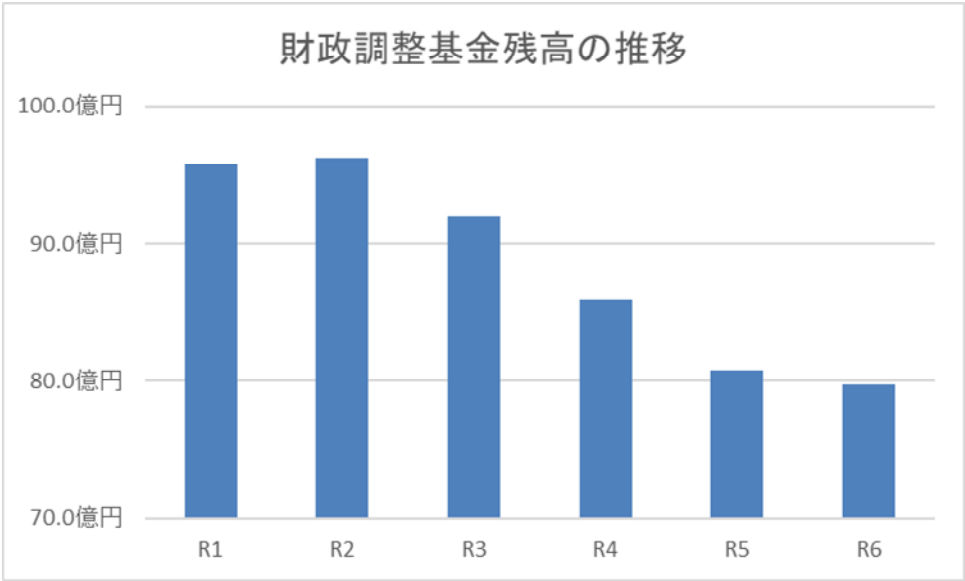
解説1：旭市の財政調整基金について



これは、市の貯金にあたる「財政調整基金」の残高推移です。
見ての通り、令和2年以降、残高は減り続けています。家計に例えるなら、「**毎月の収入だけでは足りず、積み立ててきた貯金を取り崩して生活している状態**」です。

財政調整基金推移 (単位:千円)

年度	積立額	取り崩し額	年度末残高	増減
R1	463,945	402,000	9,579,485	61,945
R2	564,726	520,000	9,624,211	44,726
R3	37,134	459,771	9,201,574	△ 422,637
R4	39,100	650,000	8,590,674	△ 610,900
R5	34,749	543,901	8,081,522	△ 509,152
R6	648,525	753,291	7,976,756	△ 104,766



さらに厳しい事実があります。
合併から20年が経過し、これまで市が建設事業などで使ってきた合併特例債などの「**有利な条件でお金を借りられる仕組み**」が、使えなくなります。
今後、必要な工事や整備を行うときには、ますます多くの貯金を取り崩さなくてはなりません。このままでは、**貯金の減るスピードはさらに加速していきます**。

解説2：公共施設について

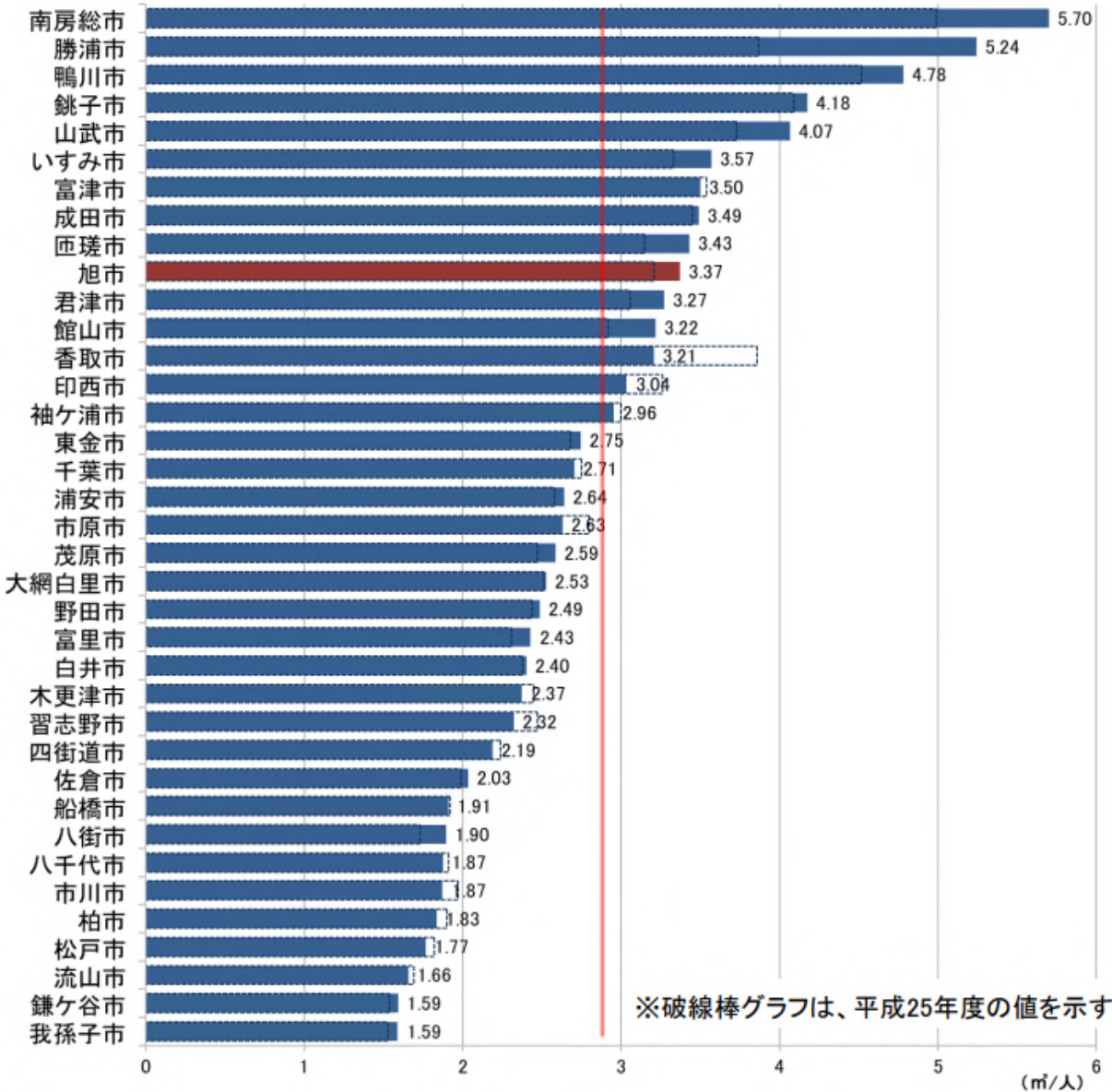


「便利な施設は多ければ多いほどいい」
それは誰もが思うことです。しかし、現実には厳しい状況です。



次のグラフは、千葉県内の市ごとの「市民一人あたりの公共施設面積」を比べた
ものです。
旭市の数字は、**県内の平均(2.84㎡/人)**を上回っています。
つまり、「**人口規模に対して、維持すべき施設の量が多い**」という状態です。

千葉県内の市における市民一人当たりの延床面積



出典：「公共施設状況調」（総務省、令和元年度）
「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」（総務省、令和2年1月1日）

解説2：公共施設について



合併から20年が経過しましたが、市内には今も、同じような機能を持つ施設が複数あります。



公共施設は、近くにあれば便利ですが、その「便利さ」を維持するために、市民全員の大切な税金が使われています。住民票も、わざわざ役所に行かなくてもコンビニで取れるようになりました。時代は少しずつ変わっています。



すべての施設を昔のまま維持し続けることが、果たして本当に市民の皆さんのためになっているのでしょうか。

「すべてを維持する」ことを選べば、そのツケは、将来を担う世代が背負うことになります。私たちは今、限られたお金の中で「何を残し、何をどう変えていくべきか」という厳しい選択を迫られています。

「便利さ」と「お金の使い道」。このバランスを、皆さんと一緒に考えたいと思っています。